

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	薪を通じた多世代に渡る主体的な未利用材の木質バイオマス利用の推進事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 森の民ねばりん
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,412,420 円

事業内容

実施内容

- ① 未利用材の搬出と薪加工講習会の開催
 地元・木の駅プロジェクト参加者への講習会の開催
 都市住民を対象とした、林業・木の駅体験プログラムの実施
- ② 薪利用を中心とした木づかいワークショップの開催
 根羽村山里文化祭における、木づかいワークショップの実施



【木の駅体験（伐採・搬出）風景】

【目標・ねらい】

- ①未利用資源（未利用材）の利用の拡大
- ②林業収入をベースとした多業、生業づくり
- ③多世代・プロ・アマ問わず、気軽に参加可能な地域資源活用場の創設と、薪利用を通じた木づかいの推進

事業効果

- ①未利用資源（未利用材）の利用の拡大
 ミッシュパレットの導入により、これまで利用されなかった未利用部分まで利用可能となった。
- ②林業収入をベースとした多業、生業づくり
 高齢世代の木の駅メンバーの参加意欲の低下は想定よりもふせげなかったものの、移住予定者や、村外都市住民をふくめて、新規のメンバーの確保につながった。
- ③多世代・プロ・アマ問わず、気軽に参加可能な地域資源活用場の創設と、薪利用を通じた木づかいの推進
 根羽村山里文化祭など、交流人口拡大から移住・定住にむけたプログラムとの組み合わせにより、村外の都市住民への周知に繋がった。

※自己評価【 B 】

【理由】
 既存メンバーの意欲向上の効果は少なかったものの、30代の若い新規メンバーの獲得できた。
 都市部との交流人口拡大につながり、将来的な移住・定住にむけたプログラム開発につながった。

今後の取り組み

引き続き、既存のメンバー（高齢世代）の参加をうながす。
 今回の事業等をつじて、都市と農山村の交流プログラム開発ができ、引き続き将来的なメンバー獲得、移住等に繋げていく。今回は20～30代を対象としたワークショップの開催が主であったが、さらにその下の世代にむけた体験プログラム開発を行っていく。